

## インターハイ2018 全国の強豪と覇を競う

ヨット部  
フェンシング部



▲いざ、海へと向かわん

七月二十六日から八月二十日にかけて三重県、岐阜県、和歌山県の五県で行われたインターハイ。長工からは女子ヨット部とフェンシング部が出場しました。

### 学校対抗四位 想いは次の国体へ ヨット部

八月十三日から十六日にかけて、和歌山県和歌山セーリングセンターで行われたインターハイ女子ヨット競技。学校対抗で長工ヨット部女子が四位になりました。大会について主将の藤尾万唯華さんに話を聞くと「目標の金メダル



▲出場した選手たち

時間があつた。全国の最高の舞台で感じたことを将来に生かしてほしい」と話してくださりました。次は国体。ヨット部の活躍を期待しています。

### 緊張走るなか、健闘 フェンシング部

八月の二、五日に愛知県知多市民体育館で行われたフェンシング競技大会を終えて「全然ダメだった。九州大会の反省を生かすことができなかった。会場は緊張感があつて火花がバチバチ飛

### 楽しく学び おいしく学び

### 深まる学び 子ども化学実験教室

八月二十三、二十四日に本校で行われた、子ども化学実験教室。小学生三十九名、中学生六名の計十五名が参加しました。台風の影響で急遽二日間

の開催となった今年度。一日目は工業化学科が、二日目は科学部が小学生を、工業化学科が中学生を担当。先生方の指導の下、工業化学科、科学部の生徒が小中学生に懇切丁寧の実験をサポート。会場はとても賑やかで、

### 液体窒素に興味津々



▲焼くと色が変わる  
ホットケーキづくり



▲現像した白黒写真



▲ロケット発射用意

### 受け継ぐべき経験

祖父は「戦争になつたら、人間が人間じゃなくなる」とよく言っていた。孫達に自分と同じような目にあわせたい。孫達に自分と同じような目にあわせたい。孫達に自分と同じような目にあわせたい。

引いたりしていたように、私は伯母を通して知りました。中国と言つても北の方で、とても寒く兵隊同士背中合わせで寝たりして寒さをしのいだりしていたこと。そのようになら、スパイと疑われた中国人の「処刑」に関わらされたという辛いこともあつたこと。

隊時代には耐えて涙を出さなかつた祖父もこの時初めて泣いたそう。その後、立山で被爆した祖母と出逢い、父が生まれ、そして私が生まれました。私は被爆三世ということになりました。祖母の時に亡くなりました。私のお菓子を買つてくれる優しいおじいちゃん、父にこんな悲しい過去があつたなんて知る余地もありませんでした。

戦争を経験した人が年々減る現在、祖父の言葉に重く受け止めなければならぬと思ひました。今戦争をしていないから、明日も大丈夫だと思ひ、証はどこにもありません。私たちの生活を送れるように、私たちに何ができるかを考える責任があるはず。憎み、争い合うから、認め合い助け合う。祖先の言葉に耳を傾けることも平和への方法の一つだと私は考えます。



▲楽しい実験の始まり

「白黒写真のアナログ現象」中学生は「鏡を作ろう」と、小学生は「おもしろい化学実験しよう」「超低温の世界を体験しよう」「二日目が「葉脈しおりを作ろう」「ペットボトルロケットの打ち上げ」。ホットケークで体験するおもしろい化学実験と葉脈しおりは今回初登場の実験。作ったものを残る食べたり、形として残るしおりを作りました。実際に中学生は「鏡を作ろう」

### 参加者の感想は

参加した小学生に感想を聞くと「とても楽しかった」「アルコールで飛ぶしおりを作ったのが楽しかった」「しおりを作ったのが楽しかった」。

「白黒写真のアナログ現象」中学生は「鏡を作ろう」と、小学生は「おもしろい化学実験しよう」「超低温の世界を体験しよう」「二日目が「葉脈しおりを作ろう」「ペットボトルロケットの打ち上げ」。ホットケークで体験するおもしろい化学実験と葉脈しおりは今回初登場の実験。作ったものを残る食べたり、形として残るしおりを作りました。実際に中学生は「鏡を作ろう」

### 今日の一枚

捨てられない

ただの特別感出る工夫

今日の一枚は信州総文祭で配給された飲料水のラベルの写真です。信州総文祭のマスコミが「信州」のイラストが描かれていた。ただそれだけで普通の水のペットボトルに特別感がでる不思議。簡単には捨てられない。信州の鳥、ライチョウがモチーフの「なび助」が「旅する鳥」をイメージしたそう。長崎県の鳥「がんばく」(中野)

### 青春日記

就職試験が間近です。私の最近の悩みは全て就職試験がらみ。そのなかでも特に不安なのが面接です。話す内容よりも、早口で話してしまうことが何より心配です。放課後の面接練習の時に、隣の先生から「早口過ぎて聞き取りにくい」と言われ、どうも聞き取りにくい。友人と話しているとき、「ん？もう一回言ってるの？」と聞かれます。ふたつと自分自身が早口なことに気がつきました。早くになる一番の理由です。落ち着かないから。着かない。幼い頃から何から着かない。小学校の楽し

